

# 木の文化を 暮らしへ、社会へ、未来へ。

## 暮らしへ

木には、住まう人にやすらぎや気品を与えてくれる優れた魅力があります。ウッドワンがお届けしてきたものは、そのぬくもりや美しさを取り入れた豊かさにあふれる暮らしのかたちです。これからも木にこだわり、その性質を活かした安心・安全・高品質な商品による「ぬくもりのある、住まいづくり」をご提案し続けていきます。

## 社会へ

ウッドワンは株式を公開している企業として、収益を上げ、雇用を生み、企業を存続させることが第一の社会的責任と考えています。しかし、それだけではなく、木を活かしたものづくりに携わる企業として、自然環境に配慮し、地域に貢献し、私たちが暮らす社会との共生をかたちにしていきます。

## 未来へ

木は、地球にとって貴重な資源です。その限りある資源を育て、守り、有効に活用していくことは、木に携わる企業にとって大切な役割だと考えています。私たちが住まう美しい地球を未来へ残していくために、ウッドワンはこれからも環境保全と共生に取り組み続けていきます。

## CONTENTS

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 編集方針                            | 01 |
| トップメッセージ                        | 03 |
| <b>価値創造</b>                     |    |
| 事業展開エリア／企業概要                    | 07 |
| ウッドワンの価値創造プロセス                  | 09 |
| ウッドワン価値創造の軌跡                    | 11 |
| ウッドワンのバリューチェーン                  | 13 |
| 1本の木を余すことなく使いきる<br>主要なブランド・商品   | 15 |
| <b>マテリアリティ</b>                  |    |
| マテリアリティ（重要課題）の特定                | 17 |
| 事業におけるESGのマテリアリティ／サステナビリティの推進体制 | 18 |
| <b>特集</b>                       |    |
| 気候変動に対する当社の取り組み                 | 19 |
| <b>重要課題 1 E:環境</b>              |    |
| 森林育成・保全を地球環境の最重要課題とした持続可能な経営    | 21 |
| ニュージーランドの全森林・全工場で森林認証を取得しています   | 22 |
| 環境会計                            | 23 |
| ニュージーランド植林事業の環境会計               | 24 |
| 再生可能エネルギー／バイオマス発電               | 25 |

|   |    |
|---|----|
| <b>重要課題 2 S:社会①</b>                     |    |
| 安心・安全・快適な住空間の実現                         | 27 |
| Topics 無垢フローリングのサンディングサービス              | 28 |
| 長寿命製品の開発／長期優良住宅「ONE'S CUBO」             | 29 |
| Topics 国産材の有効活用                         | 31 |
| 非住宅の木造化推進                               | 32 |
| <b>重要課題 3 S:社会②</b>                     |    |
| 労働生産性向上の実現                              | 33 |
| <b>重要課題 4 S:社会③</b>                     |    |
| ワークライフバランス／ダイバーシティ & インクルージョン／健康リスクへの対策 | 35 |
| 人的資本戦略                                  | 37 |
| 座談会                                     |    |
| 人生のイベントを乗り越え活躍の場を広げる女性リーダーたち            | 39 |
| <b>重要課題 5 G:ガバナンス</b>                   |    |
| コーポレート・ガバナンス                            | 43 |
| リスクマネジメント／コンプライアンス                      | 44 |

|   |    |
|---|----|
| <b>環境報告</b>                                     |    |
| 環境マネジメントシステム                                    | 45 |
| 事業活動にともなう環境負荷低減のための取り組み                         | 47 |
| 有害物質・化学物質の管理                                    | 48 |
| 廃棄物削減への取り組み／ペーパーレス化の推進／<br>輸送時の環境負荷低減           | 49 |
| 事業活動と環境への影響                                     | 49 |
| <b>社会性報告</b>                                    |    |
| ステークホルダーエンゲージメント                                |    |
| Topics Mizuho ポジティブ・インパクトファイナンス PRO の<br>実行について | 51 |
| 第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパン受賞<br>投資家との対話／庄原工場の工場見学   | 52 |
| 社会貢献活動  |    |
| 人権  | 53 |
| サプライチェーンマネジメント                                  | 54 |
| 労働安全衛生  | 55 |
| <b>ガバナンス</b>                                    |    |
| コーポレート・ガバナンス                                    | 56 |
| リスクマネジメント／コンプライアンス                              | 57 |

|   |    |
|---|----|
| <b>データ集</b>   |    |
| 環境関連データ／社会関連データ／財務データ   | 67 |
| <b>編集方針</b>   |    |
| 「ウッドワン サステナビリティレポート」は、ウッドワン及び当社グループのサステナビリティに関する考え方や現況をお伝えすることを目的として発行する年次レポートです。E（環境）、S（社会）、G（ガバナンス）に関する取り組みの現況と成果を具体的に、そしてわかりやすくご報告するとともに、さまざまなステークホルダーの方々とのコミュニケーションを図ることを目指しています。 | 50 |
| <b>基本項目</b>   |    |
| ・対象範囲…株式会社ウッドワン及び当社グループ   | 53 |
| ※環境関連データ、社会関連データ等一部範囲が異なります。  | 54 |
| ・対象期間…2024年4月1日～2025年3月31日  | 55 |
| ・参考にしたガイドライン：<br>環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」、GRIスタンダード  | 57 |
| ・次回発行予定…2026年9月頃を予定しています。   | 59 |
| <b>本レポートに関する問い合わせ先</b>  |    |
| 〒738-8502 広島県廿日市市木材港南1番1号   | 60 |
| TEL:0829-32-3333 FAX:0829-32-6237   | 63 |
| 株式会社ウッドワン 戦略統括本部  | 65 |
| サステナビリティ推進室   |    |